



IPL

Intense Pulsed Light

ドライアイの最先端治療



IPL [Intense Pulsed Light]

AQUA CEL

ドライアイの最先端治療

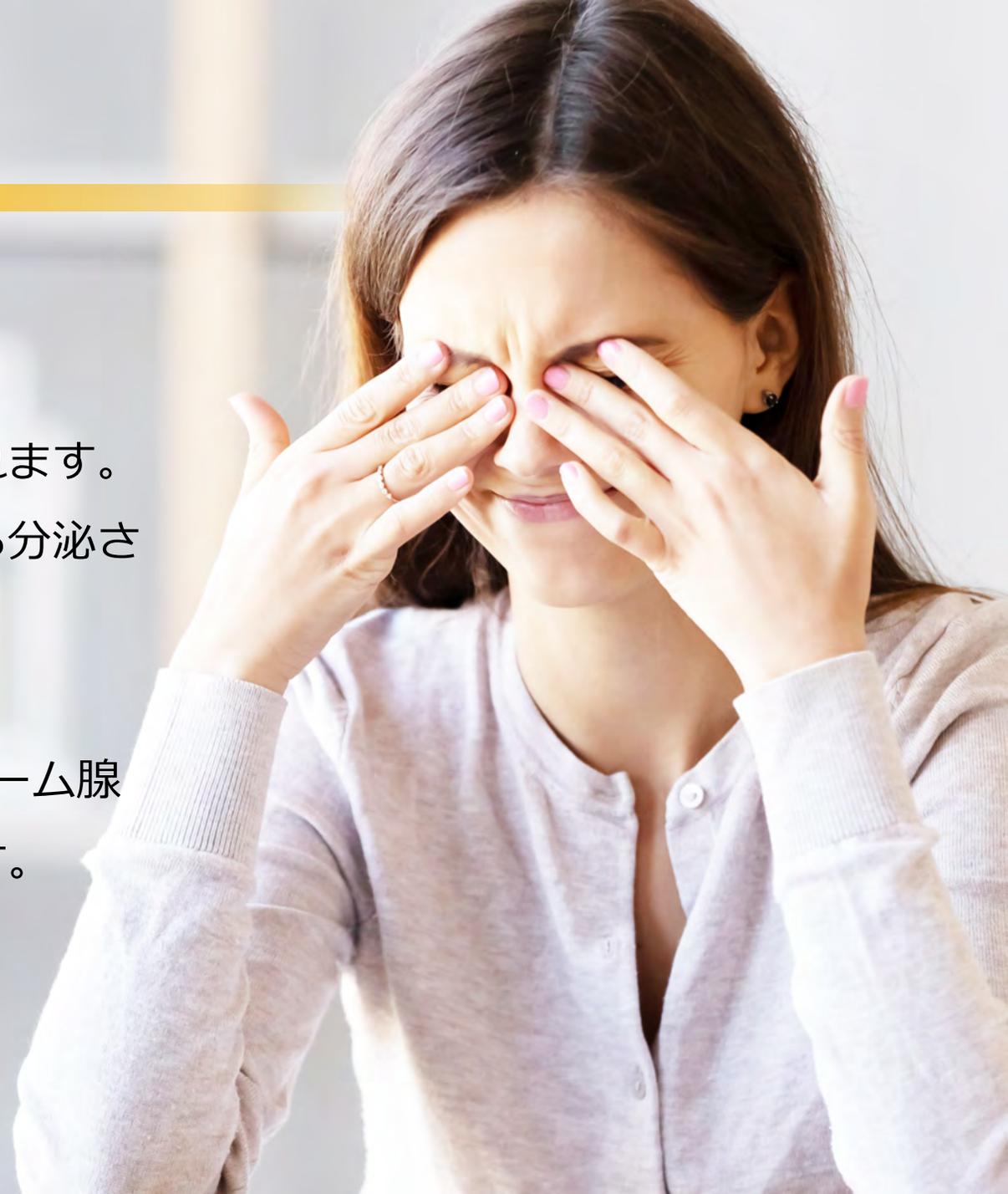
涙は、水と油によって出来ています。

水は涙腺から、油は瞼のマイボーム腺から分泌されます。

ドライアイの多くは、瞼の炎症やマイボーム腺から分泌される油の量や質が悪くなることが影響しています。

IPLは、光の力により、瞼の炎症を緩和し、マイボーム腺から分泌される油の量、質を最適化する治療法です。

国際的にも注目される最先端治療機器です。



治療の流れ

- ① 施術部位にお化粧をしている場合は、きれいに洗い流します。
- ② アイパッチを装着し、冷却ジェルを塗布します。
- ③ 瞼にIPLの光を照射します。
- ④ 施術後は、ジェルを拭き取り、日焼け止め（紫外線予防）をします。
（治療後すぐに化粧することが可能です）

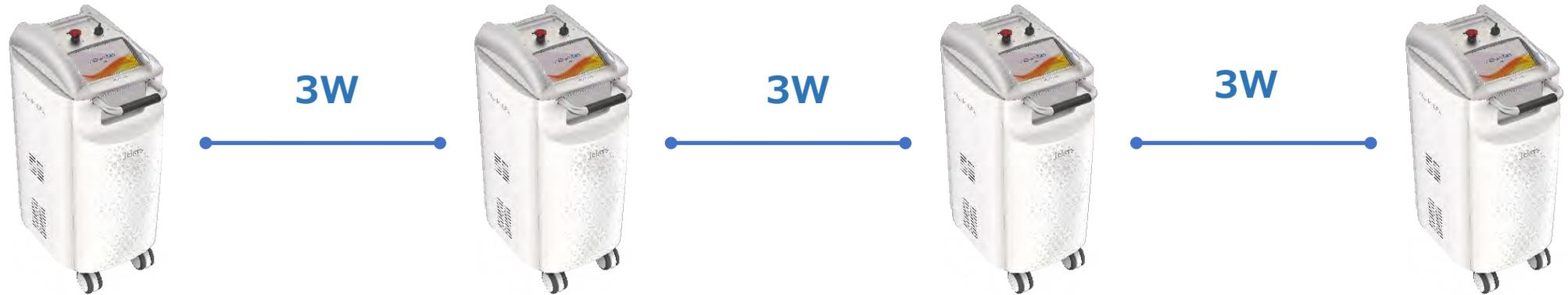
施術中は温熱感や、輪ゴムで軽く弾くような感覚がある場合があります。

※ 感覚には個人差があります。



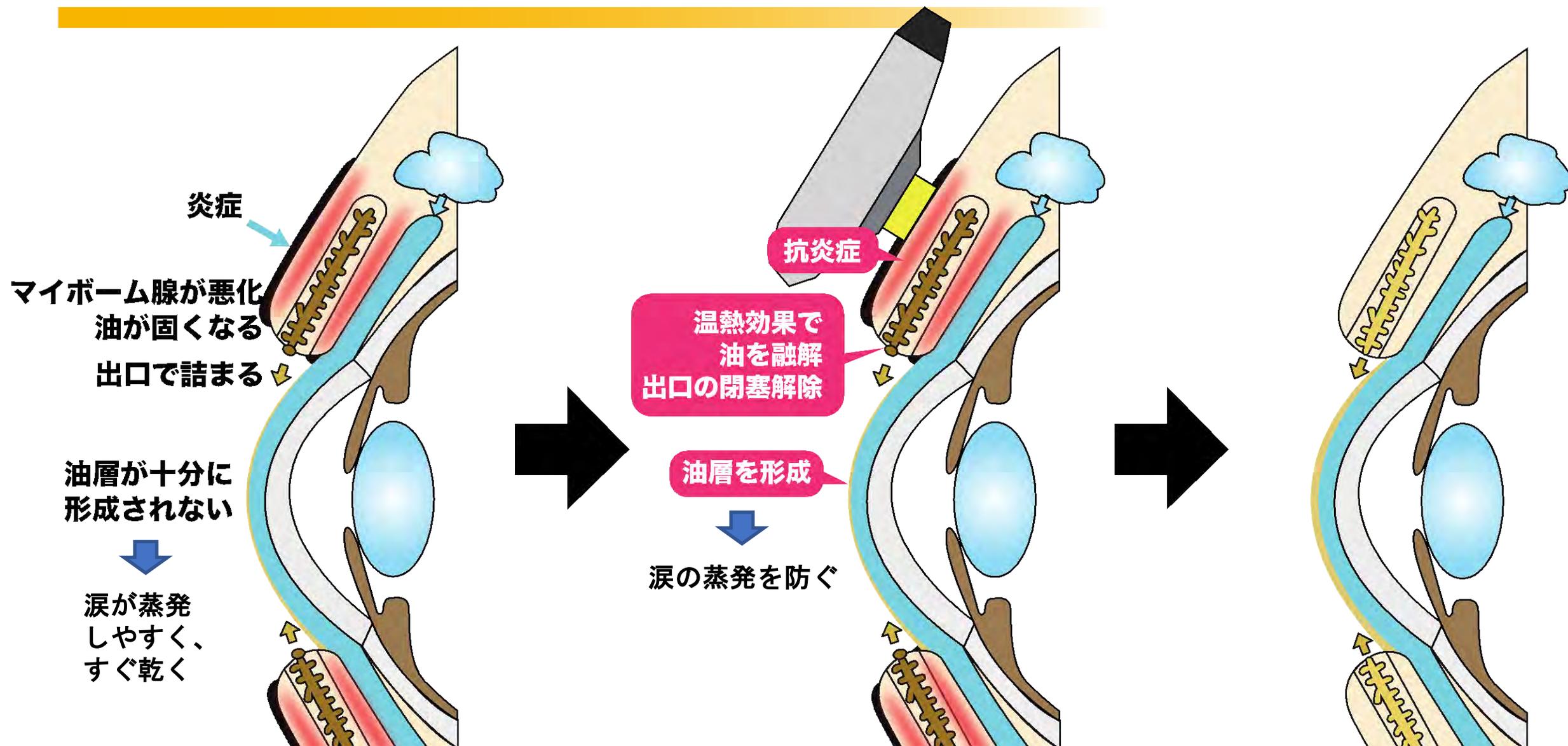
治療の流れ

3～4週間おきに計4回の施術



1回の治療は約5分程度です。

IPL (ドライアイ) 作用機序



あなたの美肌を呼び覚ます。

IPL光美容・脱毛。

IPL [Intense Pulsed Light]

AQUA CEL



このような方におすすめ

- しみ、そばかす、くすみが気になる。
- お肌を引き締め、キメ、ハリを持たせたい。
- 毛穴の開きや黒ずみを改善したい。
- 肌質を改善し、化粧のりをよくしたい。
- 顔の赤み、ニキビ跡を改善したい。
- お肌を美白、トーンアップしたい。
- 脱毛をしたい。(当院では施術しておりません)
- ダウンタイムの無い治療を行いたい。
- つらいドライアイを改善し、目に潤いを持たせたい。



美容

IPLは、ヘモグロビン・メラニンに高い吸収特性をもつ波長帯（420nm～1200nm）をターゲットにした長波長の光を照射することにより、肌トラブルの原因であるメラニン色素や毛細血管にダメージを与え、シミやそばかす、くすみ、ニキビ・ニキビ跡、赤ら顔といった肌のお悩みを同時に改善することが可能です。

更に、真皮層のコラーゲンの産生を促し、お肌の弾力やハリをアップさせる繊維芽細胞の働きを活性化させるため、肌の内側から美肌を導き、若返り効果が期待できます。



美容の流れ

- ① 施術部位にお化粧をしている場合は、きれいに洗い流します。
- ② アイパッチを装着し、冷却ジェルを塗布します。
- ③ 施術部位にIPLの光を照射します。
- ④ 施術後は、ジェルを拭き取り、日焼け止め（紫外線予防）をします。
（治療後すぐに化粧することが可能です）

施術中は温熱感や、輪ゴムで軽く弾くような感覚がある場合があります。

※ 感覚には個人差があります。



注意事項

■禁忌：

A：全ての治療不可 V：血管系疾患の治療不可

- ・過度に日焼けしている場合(A)
- ・自己免疫不全症(A)
- ・妊娠中の方(A)
- ・異常出血(A)
- ・感染や白斑(A)
- ・凝血(V)
- ・足潰瘍や静脈炎(V)
- ・血液関連薬物処方後(V)
- ・光過敏症疾患、日光蕁麻疹(A)
- ・感光薬を服用している場合(A)
- ・イソトレチノイン製剤（アキュテイン等）を服用している場合(A)
- ・癌あるいは前癌病変が疑われる場合(A)
- ・患者が非現実的な期待をしている場合(A)
- ・その他医師が施術不可能と判断した方

■医師の指導が必要な場合

- ・ヘルペス
- ・乾癬
- ・肥満治療を受けている場合
- ・肝炎
- ・妊娠後の黒いホクロや皮膚に傷跡がある場合
- ・多毛症
- ・ピーリングあるいはフェイスリフトを受けている場合
- ・ペースメーカー等、装着型の電子医療機器を埋め込んでいる場合
- ・急性疾患
- ・幼児
- ・創傷治癒過程に問題がある場合
- ・スキンタイプ第V型（皮膚の色が濃く、日焼けすると発赤が稀に起こる）に分類される場合
- ・クマジン（抗凝固薬）等の服用で出血しやすい場合
- ・イソトレチノイン服用を中断して3ヶ月経過していない場合
- ・最近脂肪注入移植術を受けた場合
- ・癲癇（てんかん）の既往歴のある場合